



にこにこ通信



就学前乳幼児（0～5歳児）のおられる家庭の子育て支援を行っています。
ふれあいの場、出会いの場、学びの場として、たくさんの方に利用していただきたい
と思っています。ぜひ、みなさん気軽に、遊びに来て下さいね。



自由利用について

月～金曜・土（月2回） 午前9時～午後3時

★自由に遊び来て下さいね。

自由開放

赤ちゃん広場

年度別おやこ活動



おやこ遊び

交流会

学習会

にこにこ教室



共催事業

授業協力

地域交流

サークル活動



子育ての不安や悩みなど、気軽に相談
ください。遊びの時でもOKです。
…面談希望の方は、申し込みを…



家庭相談員にも相談できます

子どもの成長や発達に関すること、家庭をはじめ子どもを
取りまく生活環境に対する悩みなど、子どもに関するあら
ゆる相談があれば、お気軽にご連絡ください。

こども未来課 教育委員会 電話 32-2385

☆多可町子育てふれあいセンター <Email>kosodate@town.taka.lg.jp

〒677-0114 多可町八千代区仕出原 353

<TEL/FAX> (0795) 37-2525

★天候等により、活動場所・内容が変更になる場合があります。変更内容については、ホームページで、確認することができます。<http://takacho.tokyo.r-cms.jp/kosodate/>

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 ★いきいき広場 金比羅神社	4 ・おやこ活動 (H28) 余暇村公園	5 ★親子あそび 法幢寺 (中区中安田)	6	7
8	9	10 ・おやこ活動 (H27) 余暇村公園	11	12 ・おやこ活動 (H29) アスパル	13	14 自由開放 子育てふれあいセンター
15	16 ・食育C 子育てふれあいセンター	17 ・おやこ活動 (H27) なか・やちよの森	18 ・おやこ活動 (H28) なか・やちよの森	19 ・おやこ活動 (H29) 余暇村公園	20	21 自由開放 子育てふれあいセンター
22	23 ★赤ちゃん広場 子育てふれあいセンター ・ほかほかC 子育てふれあいセンター	24	25	26	27 ★学習会 加美プラザ	28
29 昭和の日	30 振替休日					

★「年度別おやこ活動」「自主サークル活動」「にこにこ教室」の内容については、在宅家庭配布の『ほかほかたより』をご覧ください。

活動のお知らせ



保育園・幼稚園がお休みの時は、いつでも遊びに来てね。



H29年度生まれあつまれ～

と き：4月12日（木）10：00～11：30

と ころ：アスパル

対 象：H29年4月2日～H30年4月1日生まれ

★ わらべうたベビーマッサージ

講師：藤原彩美さん

★ 歯のはなし

「乳児の歯のお手入れについて」

講師：常見みゆきさん

（歯科衛生士）



レジャーシート
（一人用）
バスタオル

* H29年度生まれの活動は、
月1～2回木曜日に行います。
いつからでも参加できます。
気軽にお越しくださいね。





☆いきいき広場…申込不要

「公園で遊ぼう！」

とき：4月3日(火) 10:00~11:30

ところ：金比羅神社(中区鍛冶屋)

*職員が見守る中、お子さんと自由に遊びましょう。
桜を眺めたり、鯉が泳いでいるのを見たり、滑り台などの遊具で遊んだりして、お子さんとの時間を楽しみながら過ごしてくださいね。

【雨天時】旧中町幼稚園であそびます。



☆親子あそび…誰でも参加できます。申込不要

とき：4月5日(木) 10:00~11:30

ところ：法幢寺(中区中安田)

内容：「春のお散歩」

*桜のきれいなお寺です。お花見をしながら、春を体いっぱい感じましょう。

持ち物：お茶

【雨天時】旧中町幼稚園であそびます。

☆学習会 …申込必要

とき：4月27日(金) 10:00~11:30

ところ：加美プラザ

内容：救命救急教室

講師：多可消防署職員

*応急処置の仕方や心肺蘇生法(大人・乳幼児)について教えていただきます。

*ミニ救急車(きゅうちゃん)の乗車体験もあります。



赤ちゃん広場

申込不要

とき：4月23日(月)

ところ：子育てふれあいセンター

10:00~10:30 身体測定

10:30~11:00 スキンシップあそび

情報交換

11:00~ フリートーク

*誰でも参加できます。気軽にお越しくださいね。



【申込み・問合せ】

多可町子育てふれあいセンター

37-2525



4月に読みたい絵本

「ようちえんいやや」

作・絵：長谷川 義史

出版社：童心社



「ようちえん いくの いやや、いやや、いややー」

とにかくみんな、よく泣いております。

たけしくんが、まなちゃんが、つばさくんが・・・朝から全身で「いややー！」。

よくある光景、とひとくくりにしてしまうのは簡単だけど、どうやらみんな、それぞれ立派な理由があるみたい。

イスのマークが気に入らなかったり、いちごが好きなのに「ももぐみ」なのがいやだったり。すごく可愛らしいけど、本人たちにとっては深刻な問題。(とりあえず今日のところは、ね。)

「ああ、わかるわかる」「私も一緒!」「うちの子が泣いているのも、もしかして?」

なんて、全ての世代の共感を得てしまうのは長谷川義史さんが子どもたちの気持ちを代弁してくれるから。油断していると、最後のページで泣かされてしまいますよ。

ユーモアと優しさにあふれたこの絵本、親子で元気をもらって、いってらっしゃーい!

子どもの「甘え」を大切に

小さいときに、しっかり甘えた子がしっかり自立する

子どもの心は、一言でいうと、依存と自立の行ったり来たりで大きくなるといわれます。依存というのは、言葉を換えると「甘え」、自立というのは、言葉を換えると「反抗」ということです。この二つを行ったり来たりしながら、大きくなるのが子どもの心です。

自立の反対が甘えなので、「甘えさせないことが自立」と思われがちですが、自立のもとになるのは意欲です。意欲のもとは、安心感です。安心感はどこから来るかという、じゅうぶんな甘えからです。そこでもらった安心感が土台になって、意欲が出て、自立に向かうのです。甘えない人が自立するのではなく、甘えていいときに、じゅうぶんに甘えた人が自立するのです。

逆ではないかと思われる人があるかもしれませんが、自立につまずく子どもをいろいろ見てみると、どこかで、甘えていいとき、じゅうぶんに甘えられていなかった、ということが多いのです。

小学生くらいまでは、じゅうぶん甘えていい時期です。甘えていいときに、しっかり甘えた子がしっかり自立するのです。

甘えが満たされると、信頼感が育ち、深い人間関係を築くことができます

子どもにとっても、大人にとっても、およそ人間が生きていくうえで、甘えは絶対に必要なものなのです。

甘えは一言でいうと、相手の愛情を求めることです。甘えが満たされるとき、自分は愛されていると感じ、また自分は、愛される価値のある存在なんだと感じます。

そこで、相手に対する信頼感と、自分に対する信頼（自己肯定感）が育ちます。それが安心感につながります。

相手を信じることのできる人は、思いやりを持ち、深い人間関係を築くことができます。

子どもを甘えさせず、突き放すと、「自立」ではなく「孤立」する

よく「子どもを突き放すことが、自立させることだ」と思っている人がいます。もちろん、心を鬼にして、突き放さないといけないこともあるかもしれませんが。しかしいつもそういうことをしていたら、子どもはどう思うかという、「自分は人に助けを求めてはダメなんだ」「人の力を借りることは悪なんだ」と思ってしまいます。こういうのは、「自立」ではなく「孤立」です。

本当の自立というのは、自分でできることは自分でやる。でもどうしても自分でできないこともあります。人間ですから。そういうときには、適切に助けを求めることができる。人の力を借りることができる。これが本当の自立です。

しかし、「孤立」している人は、困っても、人に助けを求めることができません。助けを求めても、相手は嫌がるだけ、邪魔扱いされるだけと思っているからです。

そういう子どもに育てないために、できないことは手助けする、子どもが助けを求めてきたときはちゃんと対応する、ということが大切です。

そういう意味で、子どもの情緒的な要求にこたえる、できないことは手助けする、という子どもの甘えを受け止めることは、とても大切なことです。こうして、子どもの「甘え」を適切に受け止めることで、自己肯定感が育つのです。

子育てハッピーエッセンス

「甘えていい時期にしっかり甘えさせる。そうすることで、子どもはいい子に育ちます。」

「0~3歳のこれで安心 子育てハッピーアドバイス」より

著：子育てカウンセラー 心療内科医 明橋大二（1万年堂出版）